

経済学部主催

第3回ディベート大会

12月7日（木）開催



テーマ「日本における少子高齢化を考える 独創的な政策案の提案」

主旨

本ディベートでは、

日本における少子高齢化問題をどれだけ深刻にとらえるかを競うのではなく、

少子高齢化の問題状況をどれだけ正確に把握し、

この問題に対応するための、独創的な制度改革案を競います。

提案の現実的実効性は問題ではありません。

また、少子高齢化問題をどれだけ深刻に受け止めるかどうかは、重要ではありません。

少子高齢化をそのまま受け入れる立場も可能です。

本ディベートでは、現状を社会科学的にきちっと把握しているかどうか、それから、提案は独創的か、周到か、そして思考喚起的か、を競います。

少子高齢化問題について、チームは、「肯定派」「否認派」という立場を表明する必要はありません。各チームで、自らの立場を自由に表現してください。

そして各チームは、独自の切り口で、ある一つの一貫した認識と政策提案を示してください。

ディベート大会の前にディベートの専門家を招いて

11月24日（金）に講演会を開催いたします。

ディベート参加申し込み締め切りはその後に行う予定です。

詳しくは10月末にお知らせいたします。

